

ASES事業部会 Secutech Vietnam見学と企業訪問の報告 “鶴亀姫のベトナム見聞録”



総合防犯士会
ADVANCED SECURITY
EXPERT SOCIETY

訪問団長 齋藤 陽子
事業部会 成田 純一

事業部会では、総合防犯設備士試験の受験セミナーを日防設より委託を受け年4回実施しており、また毎年3月、日本経済新聞社が主催されるセキュリティショーでの防犯相談コーナーの運営、特設会場で実施される講演やパネルディスカッションにも毎年出演協力をしております。その他会員向け講演会や著名施設見学会等も実施しています。

昨年より海外視察を実施しており昨年はSecutech Taiwan Taipei見学と企業訪問を行い大変好評でした。今年は、経済発展が著しいベトナムのSecutech Vietnam見学と数社の企業訪問を実施することになりました。

基本的には現地集合、現地解散と、部分参加もOKとしました。

ベトナム戦争での枯葉剤散布による被害の様子がよく分かる資料がたくさんありました。



そして午後、グローバル人材サービス株式会社を訪問し、Than Thi Thao (タン ティ タオ) 社長と面談しました。



日本へ行くことが決まった技能実習生に日本語を教えているそうです。

■8月15日 早朝、第1陣5名ホーチミン到着



初日は2班に分かれて行動となりました。第1班3名は午前中、統一会堂(旧大統領府)や戦争記念館を見学しました。



■8月16日 第2陣を含め7名で企業訪問

昨日3名で訪問したグローバル人材サービス株式会社を再び7名で訪問しました。



現在、縫製工場、機械工場、園芸施設、牧場等、幅広い業種で実習生を送り出し実績を積み上げていること等の説明を受けました。

そして日本語研修センターへ移動し勉強している様子を見学しました。元気な声で、挨拶・歓迎を受けました。



また日本語でベトナムの印象や日本のことをいくつか質問を受けました。一生懸命でした。



日本語研修センターは全寮制で集中的に講習を行い、日本語や必要な知識を習得させるとのことでした。

■9名全員集合しSecutech Vietnam見学



午後Secutech会場へ移動、全員集合です。ベトナム社会主義共和国…、ODAは中国が1位、韓国が2位、日

本が3位とのこと。中国、韓国企業のブースが多いように見えました。ベトナムの防犯関連企業の発展はこれからです。



2日目の夕食は、ミャンマー連邦共和国名誉総領事でもあるグローバル人材サービス株式会社のBAC, Dam Trung (ダム チュン バック) 会長のご厚意で夕食会にご招待頂きました。



何回乾杯したことか…?全員、ヨッパライです!

■8月17日 企業2社訪問

3日目は、まずAIPHONE (VIETNAM)を訪問しました。従業員の9割位が女性で平均年齢は23~24歳だそうです。立和社長自ら工場の中を詳しく案内頂きました。



午後はALSOK (VIETNAM)を訪問し、安立社長よりベトナムの治安事情についてPPTの資料まで用意して頂き説明を受けました。



イスラム過激派によるテロの危険はないものの、貧富の差の拡大や薬物中毒者は増加傾向にあり、それらによる犯罪が発生している現実もあるそうです。

安立社長自らも公園の中に注射器が捨ててあるのを見たことがあるそうで、日本の企業の方には「危険があるから公園内に立ち入らない様」伝えているそうです。

体験談：中島秀造です。一人での外出は危ないです。女性二人が近づいてきて声をかけられた時、危険を感じ、尻ポケットの財布はカバーしましたが、胸ポケットの名刺入れをすられてしまいました…！色々と経験しました。

⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒ハノイへ移動です。⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

■8月18日 企業3社訪問

まずはVINA-SANWA扉製作工場を訪問し、工場内を見学しました。越智工場長自ら工場を案内して頂きました。



従業員数は134名、管理スタッフが40名、製造従業員が85名、守衛その他が9名という体制で生産しているそうです。月生産能力は

- ①スチールドア (3000セット)
- ②シャッター (150連)
- ③クイックセーバー (50セット)

あるそうで、最近では日本の製品は「品質が良い」と日本の製品を指定して来るようになってきたそうです。

イオンモールへの移動中、大型マンションの建築現場の看板に日本企業の名前がありました。大和ハウス、大成建設…。



イオンモールに到着、店舗の形は日本国内のイオンモールと全く同じです。駐車場の広さも同じように感じましたが、バイク置場の広さとバイクの台数には驚きです。

駐車台数:1,000台、駐輪台数:10,000台収容できるそうです。



ベトナムの交通事情は、経済成長に伴い、道路混雑及び交通事故等、深刻な問題を抱えているそうです。

バイク本体や部品の盗難が多いのだそうです。駐車場の出入り口には、車番認証用のカメラと顔を映すカメラが設置されていました。



日本と大きな違いは、スーパーエリアには手荷物を持って入れず、スーパーエリアの横にあるクロークに手荷物を預けるルールになっていました。店内を巡回する警備員が多くいました。人件費が安いので多く配置できるそうです。



防災センター内でベトナム店舗の概要と運用上の特色等、色々と丁寧に説明頂きました。

日本からの出店は、衣料・飲食・雑貨・クリーニング等24店舗あり、来客数は年間1,400万人、1日の最大来客数は21万人だったそうです。因みに、DAISOさんは100円均一ではなく、200円均一(40,000VND)だそうです。

そして最後にNihon Lock Service Vietnamを訪問しました。



4日目の夕食は、杉山社長に安倍首相もいかれたことがあるというベトナム料理レストランに案内して頂きました。民族音楽の生演奏もありました。



民族音楽の生演奏もありました。ちゃっかりと記念撮影させて頂きました。(レポート纏め担当：成田)

日本ロックサービス(Vietnam) 杉山社長に企業訪問他、細かくお手配を頂きました。おかげさまで有意義な見学・企業訪問が出来ました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

【このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは、総合防犯士会 事務局まで】

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-4
第4長谷川ビル4F 日本防犯設備協会内
TEL & FAX 03-3437-0359
E-Mail info@sogobouhan.org